



平成18年12月12日

各位

会社名 株式会社 クリムゾン
代表者名 代表取締役社長 児玉俊明
(JASDAQ・コード2776)
問合せ先 専務取締役 藤田 潔
電話 03-3548-1515

連結決算への変更に伴う平成19年1月期連結業績予想の公表に関するお知らせ

及び同期の個別業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成19年1月期下半期(平成18年8月1日~平成19年1月31日)より、従来単独にて行っておりました決算を連結決算に変更いたしますので、お知らせいたします。

また、個別業績予想については下記の通り修正いたします。

記

1. 変更理由

当社は、平成18年8月25日付にて「パイオニアトレーディング株式会社」の全株式を譲渡契約により取得し、同社を完全子会社としました。これに伴い、平成18年9月15日付の中間決算短信(平成18年2月1日~平成18年7月31日)は非連結で、平成19年3月に予定する決算短信(平成18年2月1日~平成19年1月31日)は、連結での発表となります。

2. 平成19年1月期(通期)(平成18年2月1日~平成19年1月31日)の業績予想(連結)

(百万円未満切捨)

	売上高	経常利益	当期純利益
通期	16,273百万円	344百万円	359百万円

(参考)1株当たり予想当期純損失(通期)14,526円17銭

3. 個別業績予想の修正理由

個別業績予想の修正につきましては、物流コスト削減に向け従来の国内での物流業務から、中国江蘇省金壇において中国物流センター(合弁出資会社に業務委託)の稼働開始により、今下期より中国での物流加工業務の取扱高の増加に伴い、物流コストの削減効果が出てまいりました。

しかしながら、卸売事業においては本年9月より、「Bear USA」(ベアーユーエスエー)を秋冬中心ブランドとして新規の販売を開始いたしましたが、他のブランドも含め販売先のプライバー

トブランド商品との差別化が不十分だったことと、秋冬商品の立ち上がり時の気候が温暖だったこともあり、売上高が未達成の見込みとなりました。小売事業においては、レディースカジュアルウェア「pour le mieux」(プーレミュー)及びアメリカンカジュアルウェア「Coral Point」(コーラルポイント)及びアウトレット店舗を展開しており、今秋冬よりMD力の強化を実施いたしました。しかし、商品が消費者ニーズとのミスマッチにより売上高が未達成の見込みとなりました。よって、売上高の減少により売上総利益額の絶対額が減少したことと、秋冬商品の立ち上がり時に気候が温暖だったことにより、予定の販売時期での販売からセール時期での販売の見通しとなったため、販売価格が当初予測に比べ下回る見込みとなり、利益額の修正を行うこととなりました。

4. 平成19年1月期(通期)(平成18年2月1日~平成19年1月31日)の業績予想(個別)

(百万円未満切捨)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	16,135百万円	41百万円	73百万円
今回修正(B)	15,057百万円	378百万円	344百万円
増減額(B-A)	1,078百万円	419百万円	271百万円
増減率	6.6%		

上記の業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づく将来予測等を前提としております。従って実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があることにご留意ください。

【参考】

各事業部門別(個別)の売上高の予想

(百万円未満切捨)

	中間決算短信発表時 (平成18年9月15日)	今回修正 (平成18年12月12日)
卸売事業	10,876百万円	10,496百万円
小売事業	4,076百万円	3,541百万円
ライセンス事業	1,183百万円	1,020百万円
合計	16,135百万円	15,057百万円

以上